

# かくれんぼあそび

出津愛児園 3・5歳児クラス(2歳児クラス)

## ねらい

- 好きな遊びを楽しもう！！
- 隠れる場所を自分たちで考え、作ることを楽しむ。
- 異年齢児と関わることで、優しく教えたり、アドバイスをしたりし、協力することの大切さを知る。

## 環境・構成

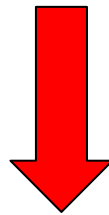
○隠れる場所を作るための材料提供。マット・スポンジ積み木・ジャンピングマット・布・机・跳び箱など…



かくれんぼしたいなあ～

子どもたちが隠れる場所は限られています。

何もない状態でかくれんぼをやってみました。しかし、すぐに見つかってしまいます。何か手立てはないか考えてみました。



<隠れる場所作り>



自分たちで隠れる場所を作るため、いろいろな物を準備してみました。



<隠れる場所を作ってみよう！>



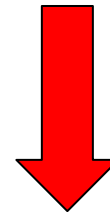
隠れる場所を作るというか、自分の好きな遊びになってしまい、積み木遊びを楽しんでいます(笑)

少しヒントを保育士が教えたのですが、積み上げたブロックに布をかぶせるだけになり、隠れる場所はありません(笑)

でも、これで満足気な顔でした。



隠れたいけど、マットが崩れてきて、隠れられません。試行錯誤で考えています。



どうやったら空洞ができるか？積み木を使ったりして何とか考えている様子。

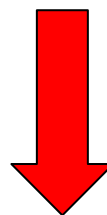


どんなしたら穴ができるかな？



自分たちで試行錯誤しながら考えて作ったり崩れたりする。結局マットとマットの空洞はできず、布を使って隠れる空洞を作る。

これでいいよね？



どうしても3歳児はまだ発想して隠れる場所を作る…というのは難しかったようである。保育士のことは掛けや援助(アイデア)を入れながら一緒に隠れる場所を作る。



<隠れる場所完成！！>



5歳児は自分たちで考え、どうやったら隠れる場所ができるか話し合ったり、協力し合ったりする姿が見られました。



隠れているときにぐらつくような積み木、危険な個所はないか確認する。



かくれんぼスタート

先生、内緒ね！！



周りの友だちと相談しながら、隠れる場所を一生懸命探している。

どこに隠れるか迷っている子へは優しく声をかけ、援助する。

## 【実際の子どもの姿】

子どもたちのかくれんぼしたい…との思いから、この遊びへと発展した。何もないホールへどうやって隠れる場所を作るか、試行錯誤しながら、年長児を中心として、考えながら隠れ場所を作っていた。異年齢クラスで、3歳児、5歳児のクラスなので、遊びの展開の仕方や、発想も違い、主に年長児を中心としての遊びだった。

子どもたちは、ちょっとした秘密基地を作るようで、終始ワクワクしながら楽しく遊びを行った。

途中で2歳児の子どもたちも入ってきて、自分たちで発想、展開した遊びを十分に楽しむことができた。

## 【保育士の気づき】

子どもたちの声を大事にし、遊びを提供したり、仕方を提供したりすることができた。なるべく、子どもたちが自ら考え、展開できるよう、最小限の援助や見守り保育を行う。その中で、子どもたち同士で助け合ったり、工夫をする姿が見られた。

## 【今後の課題】

時間が来てもまだ遊び足りなかったようで、「まだしたい…」との声が聞かれた。子どもたちが、まだまだ展開していけるのではないかと思う。また、同じ遊びでも、隠れ場所を作る材料を変えてみることで、違う展開の仕方があるのではないか見てみたい。